

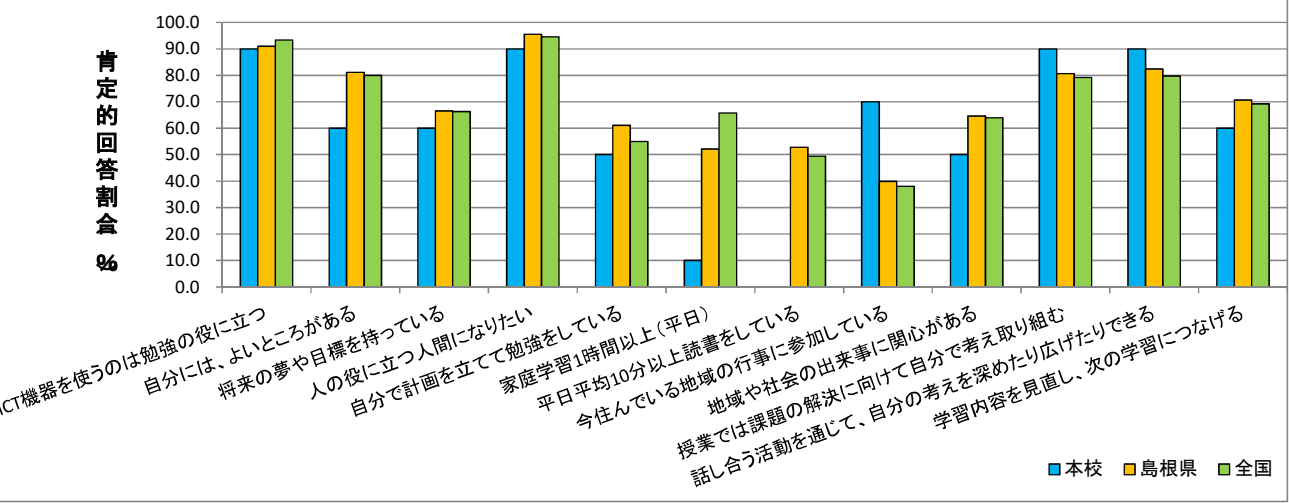
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○文章や対話の内容を把握し、考えを広げることができる。 ○目的に応じて考えをまとめることができる。 ○根拠を明確にして考えを伝えることができる。 ●複数の情報源から必要な情報を読み取り、効果的に利用する力に課題がある。	・複数の情報から目的に応じて必要なことを読み取り、さらに必要な情報を検索する活動を取り入れる。
数学	○累積度数や箱ひげ図の意味を理解し、データの分布の傾向について考えることができる。 ○事象を数学的にとらえ、説明することができる。 ●基本的な語句や性質について答える問題の正答率が低い。 ●表やグラフから必要な情報を読み取る力に課題がある。	・問題に対して数学的に考えることや説明ができるよう、言語活動の場面を増やしていく。 ・TTによるきめ細やかな指導を行い基本的な知識・技能を身につけさせる。
英語	○英文を聞き、その内容を理解している。 ○記述の無回答が少ない。伝えようとする意欲を持っている。 ●英文を読み、必要な情報を読み取る問題の正答率が低い。 ●語順を理解し、正確に英文を書くことができていない。	・基本的な語形・語法の理解を深める。 ・条件に合った英文を相手に伝えるように書く力を伸ばす。

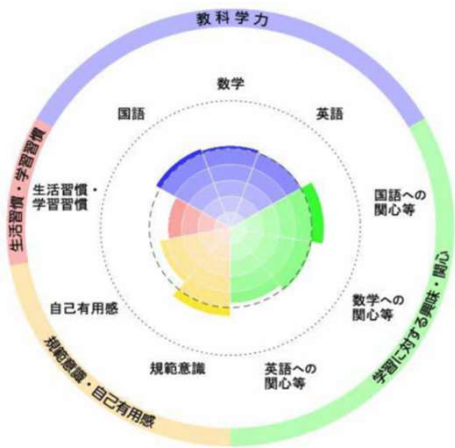
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○授業に意欲的に参加し、課題に集中して取り組む。 ○話し合う活動を通して、自分の考えを伝えたり、考えを深めたり広げたりできる。 ●家庭学習の習慣が定着していない。 ●本や新聞に触れる機会が少ない。	・基礎学力を高めるために、タブレット等も活用し、家庭学習を習慣づける。 ・授業等で図書館の資料や新聞を活用し、興味を広げる機会を増やす。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・小集団の強みを生かす取組を充実させ、全教員で個にあった学習指導を行う。
- ・集会や行事、特別活動などを通して、他者とのよりよい関わりを考えることができる機会を設ける。
- ・学校全体で「特別の教科道徳」の授業改善に取り組み、互いに考えを深め合うことのできる授業を展開する。

【受検者数】

10 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。